

## ◆住まいづくりの無料相談会◆

毎月第4土曜日の13時～16時、鶴屋デパート本館5階インテリアカウンターにて無料相談会を開催しております。皆さんも相談員として登録しませんか！

＜対応して下さった相談員の皆さま＞

4月 倉富 華奈さん、永井 晶子さん

5月 谷口 規子さん、井芹 里恵さん

6月 若松 恵子さん、園田 和美さん

ありがとうございました。



## ◆建築士の集い 熊本大会が開催されました◆

6月23日に「建築士の集い 熊本大会」が開催されました。第二分科会の「被災地から 今だから伝えたいこと」は、昨年度、女性部会で取り組みたかった事の建築士向けバージョンとなりました。この内容は、様々な方々に聞いて頂きたかった事ですが、会場の都合で建築士会のメンバーだけに公開となった次第です。また皆さまと話し合える場が設けたらなと感じました。

過去の地震から経験を学ぶ機会として、東日本大震災、新潟県中越地震、阪神淡路大震災の復興を担われた方々にご登壇いただきました。随分と時間は経過していますが、まだまだ復興しきったとは言い切れない状況の中を皆さん頑張っているのを感じました。また、熊本地震の復興に深くかかわっている各分野の方々にもご登壇頂きました。それぞれの視点での活動の発表では、私たち建築士には気が付けないことを知る機会を与えてくださり、感謝します。

意見交換会もとても盛り上がり、ホッと一息ですが、これは終わりではなく始まりだと、みんな実感しているのではないかなと思います。

翌日のエクスカージョンでは、熊本城復旧現場見学会が行われました。震災後の熊本城では、おもてなし武将隊にもお会いでき、戦国の世にタイムトリップしたかのような体験もできました。熊本県の建築士会の皆さん、お疲れ様でした。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

女性部会でも、今後とも楽しく学びのあるイベントを企画してまいります。皆さまのご意見、ご参加、ご協力を心よりお待ちしております。



わたしたちは「いつでも、誰でも、気軽に」をモットーに、全員が参加できる部会活動を目指しています。女性部会の最新情報はFacebookで随時更新中！

【熊本建築士会女性部会】で検索♪ QRコードはこちら



## 熊本地震を経験して

平成28年4月14日に前震、16日には本震と2度の大きな地震に見舞われた熊本地震から2年が経ちました。私たち女性建築士がどのように感じ行動したのか、記録の第5弾です。



永井 晶子

ノルドデザイン有限会社 代表

### ◆ 地震のあと

熊本地震から2年が経ち、復旧復興へ様々な活動が続いています。

女性部会でも一致団結して支援の輪を大きく広げているところで。まず、「女性建築士による住まいの無料相談会」。18年前から定期的に開催していますが（鶴屋本館5Fインテリアコーナー／毎月第4土曜日13:00～16:00）周知とはいえませんでした。しかし、今こそ必ず役立つ活動だと確信し、積極的にPRを始めました。被害を受けた市町村や仮設団地へポスターやチラシの配布をメンバーで手分けして行っています。一人でも多くの相談を受けたいと思います。



2016.7.30 出張相談会(御船町役場庁舎)

また、昨年7月には御船町への出張相談会も実現しました。みなし仮設や被災住宅で過ごす方々の現実に関わり、活動の意義を感じました。

実は、私個人の仕事にも偶然が重なり驚いたことがあります。

昨年7月6日、「インテリアフェスティバル in 九州」（インテリア産業協会主催／福岡西鉄グランドホテル）で特別講演をしました。通常、講演の依頼は前年にいただくことが多く、その頃にタイトルを決めます。今回もそうで、「自然・大地・人間の「気」の調和による設計&インテリアデザイン」と題して「東洋の環境思想」について話することにしました。



2016.7.6 インテリアフェスティバル in 九州

【自然・大地を生きたものとして捉え、その土地に備わっている「気」という生命エネルギーがそこに住む人の人生に大きく影響する。更に、「気」の流れは岩塊一つ動いただけでも大きく変わってしまう。】何というタイミングなのかと思いました。今回の地震は岩塊どころ

か恐ろしいほどの多量の岩塊、地盤が暴れました。まさしく、私自身が2ヶ月前に体験した現実であること。皆様に話をしながら、自然という非常に動的な「気」エネルギーが人生に影響を与えようという思想がひしひしと心に沁みだすことを覚えています。

講演の準備のために香港に行きました。地震後もない5月10日です。熊本県香港事務所と約束の日です。空港に降り立ちホテルまでの移動中、車窓からの景色に思わず「ドキッ」としました。もう何度も訪れていて見慣れた香港の景色だったのにです。揺れの体感、倒壊した建物の記憶がよみがえったのでしょうか。新期造山帯でない地体構造だと分かっている、山の上までに聳え立つビル群を見て、やはり心穏やかではありませんでした。



中環（セントラル）/香港

あとどのくらいかかるのでしょうか。いつもお城が見えて自然豊かな平安な熊本が戻る日を心より望みます。

※ この記事は2017年11月発行の建築士くまもとNo.108に掲載されたものを一部変更して掲載しております

女性部会では熊本地震の体験やその後の活動を書いてくださる方を募集しています。  
（公社）熊本県建築士会事務局までご連絡ください。

TEL 096-383-3200

Mail LEB03540@nifty.com